

2025 年度接着講座マスターコース

主催 一般社団法人 日本接着学会 中部支部

日本接着学会中部支部では、接着技術に関わる皆様に向けて、接着の基礎科学の再学習や最先端技術の習得を支援することを目的とし、「接着講座マスターコース」を開講しております。本年度も、接着および関連分野で優れた実績を有する第一線でご活躍中の先生方を講師にお迎えいたします。講座では、基礎から応用、さらに新分野の開拓につながる先端技術までの幅広いテーマを取り上げます。

日時：2026 年 1 月 26 日（月）10:00～16:20

会場：名古屋市工業研究所 第一会議室（名古屋市熱田区六番 3-4-41：地下鉄名港線「六番町」駅 3 番出口すぐ）

10:00～10:10 支部長挨拶

10:10～11:20 第 1 講 フィラーとして用いる球状シリカナノ粒子表面の親疎水性が高分子系コンポジットの特性に及ぼす影響

公立大学法人 富山県立大学 教授 棚橋 満氏

高分子母相との間に広大な界面が形成されるナノフィラー分散高分子系コンポジット（ナノコンポジット）の特性には、フィラー／母相界面のぬれ性や相互作用が多大な影響を及ぼす可能性が高い。ゆえに、コンポジットの特性制御・向上のためには、発現するコンポジットの特性と形成されている界面性状との関係の解明が重要となる。本講演では、シリカ／ポリプロピレン（PP）系ナノコンポジットの結晶組織形成や力学特性に及ぼすシリカ／PP 界面のぬれ性の影響に関する講演者の研究事例を中心に紹介する。

11:30～12:40 第 2 講 分光分析による固体表面および界面の構造解析および接合メカニズムの理解

株式会社東レリサーチセンター 主任研究員 国須 正洋氏

表面や界面の構造解析は、接着接合特性を把握する上で今後ますます重要となる。本講演では、プラズマ処理やアルカリ処理などの表面処理後の樹脂固体表面や接合界面について、分光分析により化学状態、結合状態、配向状態を評価し、接合メカニズムの理解を追求した事例を紹介する。

13:40～14:50 第 3 講 化学企業における高分子材料の表面・界面解析

旭化成株式会社 基盤技術研究所 リードエキスパート 菊間 淳氏

新規な高分子材料開発において、密着性、親水／疎水性、生体適合性など、表面・界面の果たす役割は極めて重要である。講演では、フィルム、膜等の平面状の表面界面、フィラー等の不定形界面について、企業の研究現場で活用されている解析技術を解説する。

15:00～16:10 第 4 講 光反応性高分子液晶の配向制御と接着粘着への応用

兵庫県立大学 工学研究科 准教授 近藤 瑞穂氏

液晶高分子は外部刺激により分子配向を制御でき、その配向は高分子骨格の配向や、それに連動した巨視的な機械特性に影響する。本発表では分子配向・配向秩序度を光によって制御し、接着や粘着特性に与える影響についての最近の事例を紹介する。

16:10～16:20 閉会の挨拶

定員：100 名

受講料：正会員・協賛団体会員 10,000 円（税込み）、
非会員 15,000 円（税込み）、学生 無料

申し込み先：下記 URL または 右の QR コードを読み取ってください。

<https://smms.kktcs.co.jp/smms2/event/adhesion/253>



申込締切：1 月 9 日（金） 入金締切：1 月 16 日（金）

振込先：三菱 UFJ 銀行 名古屋営業部 普通 0360136 一般社団法人 日本接着学会 中部支部

世話人：加藤 裕貴（中京油脂）、鳥飼 直也（三重大）、松本 正幸（アイカ工業）、

守谷せいら（中部大）、渡邊 大展（名大）

問い合わせ先：守谷 せいら e-mail: seiram@fsc.chubu.ac.jp

協賛：化学工学会東海支部、高分子学会東海支部、色材協会中部支部、電気化学会東海支部、

（予定）日本化学会東海支部、日本セラミックス協会東海北陸支部、日本分析化学会中部支部、

日本油化学会東海支部、表面技術協会中部支部、有機合成化学協会東海支部